



CHARTERED SEPT.11.1953

Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO YAMATE

YAMATE YMCA, 2-18-12, NISHIWASEDA, SHINJUKU-KU, TOKYO TEL. 03-3202-0321 FAX.03-3202-0329
〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-18-12 山手YMCA内

2015 - 16 会長主題

一人ひとりが賜物。もっと発酵、もっと発信！

あずさ部長	標 克明 (甲府)	「ワイズメンとして一歩前進」
東日本区理事	渡辺 隆 (甲府)	「原点に立って、未来へステップ」
アジア地域会長	Edward K. W. Ong (シンガポール)	“Through Love, Serve” 「愛をもって奉仕をしよう」
国際会長	Wichian Boonmapajorn (タイ)	“Mission with Faith” 「信念のあるミッション」

会長 浅羽俊一郎 / 副会長 上妻英夫 / 書記 鈴木田通夫 / 会計 尾内昌吉・金本伸二郎
直前会長 浅羽俊一郎 / ブリテン 功能文夫 / 担当主事 松本竹弘

2016年 5月例会

<EF/JEFの月>

と き 5月17日(火) 18:30~
 ところ 山手センター101室
 受付 鈴木田祐子さん、金本伸二郎さん
 司会 増野 肇さん
 開会点鐘 会長
 モットー・ワイズソング 一同
 聖句朗読・祈祷 司会者
 ゲスト・ビジター紹介 会長
 会食 一同
 ハッピーバースデー
 楽しい歌
 卓話「ここを病む人とともに暮らしたい」
 -クッキングハウスの実践から-
 NPO 法人クッキングハウス会 代表
 松浦幸(さち)子さん
 山手Yの小窓から 担当主事
 ニコニコ 一同
 諸報告 担当主事、会長
 閉会点鐘 会長

当番[第3班] 鈴木田(祐)、浅羽、金本、増野

ワイズメンズクラブ モットー

『強い義務感をもとう
 義務はすべての権利に伴う』
 “To acknowledge the duty
 that accompanies every right”

今月の聖句

世の富を持ちながら、兄弟が必要なものに事欠くのを見て同情しない者があれば、どうして神の愛がそのような者の内にとどまるでしょう。子たちよ、言葉や口先だけではなく、行いをもって誠実に愛し合おう。
 ヨハネの手紙 I 3章 17-18節

5月 HAPPY BIRTHDAY

鈴木田通夫さん 12日

会費の納入は、会計(尾内君)への納入または下記銀行口座への振込みをお願いします。

三菱東京UFJ銀行 高田馬場駅前支店
普通 3548431 「東京山手ワイズメンズクラブ」

4月報告

会員在籍数		16名
例会出席者	メン	14名
	メネット	一名
ゲスト・ビジター		12名
会員出席率		88%
ニコニコ	20,000円 (累計 81,045円)	
	(今回の2万円は熊本Yに寄付)	
B F 国内切手	1.6kg	外国切手-kg



4月例会 報告

4月19日(火) 18:30~20:30

山手センター 101号室

出席：浅羽、上妻、飯島、飯島(愛)、飯野、尾内、
尾内(規)、金本、功能、鈴木田、中村、増野、
松本 13名

ゲスト・ビジター

島田 茂さん(卓話者・日本YMCA同盟総主事、
東京サンライズ)
岡田浩一さん(東京YMCA会員、元リーダー)
新井克己さん(同)
武田勝彦さん(ケアインターナショナル、浅羽友
人、元鎌倉YMCA少年会員)
藤井寛敏さん(東京江東・元国際会長)
衣笠輝夫さん(埼玉・会長)
麻生由美子さん(東京武蔵野多摩・元リーダー)
大輪匡史さん(〃・元リーダー)
菰渕光彦さん(東京サンライズ)
小澤智之さん(甲府21)
小原史奈子さん(東京たんぼぼ)
川本龍資さん(名古屋クラブ・名古屋Y理事)
合計 25名

司会は鈴木田さん。

この日の卓話者は島田日本YMCA同盟総主事とあつてでしょうか、ゲスト・ビジターも多く、賑やかな例会になりました。4月のHappyバースデーは増野さん、功能さん、尾内規子さん、飯島さんの4人を祝いました。続いて、楽しい歌はいつもの「ズンゴロ節」を歌い、いよいよ卓話になりました。

<卓話要旨>

1978年に横浜YMCAに就職、藤沢YMCAで水

泳とキャンプを担当した。2009年に富山YMCA総主事になったがキャンプソングがズンゴロ節だった。今日ズンゴロ節が歌えて嬉しい。

卓話者は「今この瞬間、生きる喜び～YMCA流」としてあった。しかし、4月14、16日に、熊本で震度7の激震が起きたので、話の途中からは「熊本地震で被災し弱くされた人々と共に—イエス・キリストに導かれしYMCA—」と題して熊本YMCAの活動の状況を報告する。

子供の貧困対策の中心が学校におかれ、子供の未来が輝くためにと、勉強して大学にはいってよい就職を、といわれる。しかし、それは子どもたちのことを中心に考えた未来だろうか。

経験は未来に向かってするもので、子供たちの遊びも人生そのものである。YMCAはいつも進行形の経験を積み重ねて行くことを目指す。

福島では、孤独死と自殺が問題になっている。心が折れ切った人が増えてきている。そして、原発事故の収束は全く見えない。希望を失っている。

福島にYMCAを作ってほしい、という声が上がっている。東京YMCAはこの5年間に三菱商事から2億5000万円をいただいてリフレッシュキャンプに5,000人の子供たちを参加させることができた。

盛岡の浄土宗系のNPOは5年たってもまだ被災地の人たちに寄り添っている。しかし持続的に活動できるようにと願っても、つぶれて行く団体がある。

熊本地震の情報はまだ少ないが、熊本YMCAの活動状況を写真をスクリーンに映して報告する。

熊本Yが指定管理者になっている施設にテレビでも避難所として映る益城町の体育館があり、ここに1200人が避難している。被災地にYから光永、山根他10人のスタッフがすでに入って活動している。

4月ヨルダン会 報告

Yのコーディネーターは経験豊富で、避難者のためにストレッチなどの運動指導をしている。自分たちも車の中に寝泊まりしながら頑張っている。横浜Yからは車で応援に駆け付けている。賛育会の職員も行った。

盛岡の大震災時に小学生だった子が今高校生になってジュニアリーダーになっている。YMCAは長期に寄り添う自立的な支援活動を継続する。

YMCA 同盟は、被災地支援のために、1、コーディネーターの派遣、2、資金集め—アジアと世界に発信、3、ネットワーク—ワイズその他、4、情報の受発信、の活動を進めて行く。

卓話の後、山手センター館長で山手クラブ担当主事の松本竹弘さんから熊本で同期の仲間が頑張っていることに元気づけられているという話とともに、熊本地震支援街頭募金（東京駅、高田馬場）実施のお知らせがあり、また、山手センターでも今年度は地域活動を進めていくこととし、9月4日に戸山公園での震災防災フェスタに楽しい防災イベントで協力するとの報告がありました。（ヨルダン会報告参照）

この日のニコニコは熊本地震の支援活動を行う熊本Yのためにと2万円が捧げられ、同盟の島田総事に托しました。

閉会后、有志による二次会が伊丹亭で賑やかに開かれました。

.....

5月例会 講師のご紹介

松浦幸子さん

調布市で心の病気の人たちの支援をしているレストラン「クッキングハウス」を30年ほど運営しておられます。
新潟県生れ、1972年 法政大学文学部卒
1982年 YWCA 専門学校社会福祉科卒
1987年 「クッキングハウス」設立
2005年 精神障害者自立支援賞[リリー賞]受賞
著書 「不思議なレストラン」「いくつになっても夢を描きたい」「私も一人で暮らせる」他多数



日時：4月26日（水）13:30～15:00

場所：山手センター101

出席：青鹿、浅羽、尾内、鈴木田（通）、中村、増野、松本主事、7名

- 1、BF 代表イノストローザ氏（チリ）の来日6月2日～9日、区大会出席後、ホームステイ先の募集。あずさ部は湘南沖縄部から引き継ぎ、7日の夕食から8日の昼食後、関東東部へ引き継ぐ。
- 2、星野達雄元山手メンの葬儀（4月29日午後1時、東中野教会）
- 3、多摩みなみクラブ設立総会（5月22日）
- 4、石巻広域クラブ・チャーターナイト（5月2日）
- 5、東京Y会員大会（5月28日）
- 6、**5月例会** 卓話 松浦幸子氏（クッキングハウス設立者、ソーシャルワーカー）
広報についてはドットコム、町会等呼びかけで。なお、好評ならば改めて秋にでも広く参加を呼びかけることにした。
- 7、あずさ部「アイリス」評議会（5月14日、高尾わくわくビレッジ）
浅羽会長は第2部しか出られないので、評議会は上妻副会長が代行する。また、評議会についてのブリテン記事も上妻メンにお願いする。
- 8、次期金本会長年度について
6月例会に今年度総括及び、次年度への引き継ぎと新会長の方針説明を予定。
- 9、松本主事から
・熊本地震支援には東京Yから中堅スタッフから1週間交替で現地に赴く。松本主事は5月6日～13日に派遣。
・4月26、27日に高田馬場駅前熊本支援街頭募金。高等学院生、ホテル学校生が参加。山手クラブからは尾内・中村・浅羽が部分的に協力。
・9月4日、新宿区とピースボートの共催で防災フェスタが開催される。山手センターは戸山公園に来る約3000人の市民に対応する。なお、この催しは3年間続ける方針。
- 10、会計報告（尾内）
- 11、自由討議 今後の山手クラブをどうするかについて忌憚ない意見交換がなされた。

以上

福島とわたし

飯島隆輔

教会学校の中高科分級で、4月から岩波ブックレットの「福島から問う教育と命」を読んでいる。福島の高校教師をしていて、原発事故によって放射能汚染された地域に生きた教師と生徒たちが、どのように感じ行動してきたかを書いている。昨年度は「3.11を心に刻んで2014」という同じシリーズのエッセイを毎週一つずつ読んで、東日本大震災と東電の原子力発電所の爆発事故について考えた。

5年前、宮城県や岩手県の海岸線の都市に山のような大きな津波が押し寄せて人家や車を押し流し、逃げ惑う人達を濁流に巻き込んでいく様子を何度も何度もテレビで見ていたが、福島の原発が爆発事故を起こしたことは多くは報道されなかった。政府や東電は情報を隠すこと、事故を小さく見せることに腐心した。今でも何の問題解決の見通しはない。地震や津波は自然災害だが、原発事故は人が引き起こした人災であることは明らかで、原発を次々と造り、石油や天然ガスなどの化石燃料から原子力に依存度を高めて行った戦後のエネルギー政策のつけが回ってきたと考えられる。原子力に頼るエネルギー政策を止めさせるとともに、豊かになって電気に頼りすぎた私たちの生活を見直すことが急務である。両方ともに私たちの意識の変革が求められ、のど元過ぎれば云々にならないようにしなければならない。

福島は猪苗代湖、磐梯山、五色沼、阿武隈山系、安達太良山など自然が美しく、桃やリンゴ、さくらんぼ、すいかなど美味しい果物や野菜などが豊富だけでなく、人情は細やかな土地柄である。今、福島はフクシマと言われている。そんなことはないと思いつつながら、私たちは無意識に福島を差別の対象としているのではないか、そのことを真剣に反省していきたいと思っている。

おたより (4月)

<青鹿博明さん> 4月は心も身体も新しく動く時ですね。それぞれの働きの上を祈っております。私は今、南相馬市小高区の避難解除の動きに注目しています。果して何人の人が帰ってくるのか、

その応援はどうすればいいのか？ボケ傾向の頭で考えています。

<上妻英夫さん> 「故郷(くに)の香や菜の花ひたしの朝餉かな」。桜の花も冷たい雨で長もちしている様だが、食膳には昔なつかしい菜の花のおひたしが……子供のころ母が畠から採った青々としたおひたしが食膳に出たのがなつかしい。是また旨い。

<浅羽俊一郎さん> 急に区・部から報告書の催促、ユース事業関連のプログラム準備、と追われる毎日ですが、それでも富士五湖クラブの障がい者フライングディスク大会に参加し感激。あらためてボランティアについて考えさせられました。

<飯島愛子さん> 骨折にもめげず光風会展に出品します。

<飯島隆輔さん> 幼稚園新入生 25名、新たに始まりました。

<鈴木田通夫さん・祐子さん> 戸坂昇子さん、沖利柯さん、お二人のヤングレディがYの人事異動とはいえ、一度に退会。山手は火の消えたようになるのか。お二人の前途を祝し、更なるご活躍をお祈りします。

.....

哀悼

星野達雄さん 東京YMCA 第7代総主事(1966年10月~1969年12月)、信越妙高クラブ会員、山手クラブ名誉会員

4月26日に召天されました。1921年(大正10年)4月生れ、95年のご生涯でした。

山手ランチ第3代主任主事(1959年5月~63年10月)も務められました。この時に東京山手クラブに入会されて1995年6月に75歳で退会されるまで熱心な会員でいらっしやいました。退会後も山手クラブの名誉会員として特別の会のときなどにはご出席になられました。山手クラブで妙高高原の枝門庵にご夫妻をお訪ねしたこともなつかしく思い出されます。

4月29日に東中野教会で葬送式が執り行われ、浅羽、浅羽恵、青鹿、上妻、飯島愛子、尾内、功能、鈴木田、鈴木田祐子、中村、増野が参列しました。

2016年4月18日

東日本区会員の皆様

YMCAニュース

東日本区理事 渡辺 隆
地域奉仕事業主任 相川達男

熊本地方大地震支援募金協力の

お願い

去る4月14日に発生しました、熊本地方を震源とする地震につきましては、熊本、及びその周辺地域に甚大な被害をもたらし、今なお活発な余震が続き、予断を許さない状況です。被災された多くの方々に、心よりお見舞い申し上げます。日本YMCA同盟からの情報によりますと、熊本YMCAの施設も大きな被害を受けました。また、熊本YMCAが指定管理をしている益城町の益城総合運動公園・体育館は避難所になっており、YMCAの職員が懸命な支援活動に携わっております。

東日本区としては、支援活動が長期化することから、当面は期限を設けず、支援募金活動を行うことに致しました。各メンバー、各クラブ、各部が一体となって支援活動にご協力賜りますよう、お願い申し上げます。また、早急に「東日本区ワイズ基金」から100万円を拠出し、熊本YMCAを支援することに致しました。

今後は、日本YMCA同盟と協働して、熊本YMCAが行う被災者支援活動等に役立ててゆきます。

【送金方法】

<ゆうちょ銀行>

口座名 ワイズメンズクラブ国際協会東日本区
口座番号 00110-0-362981
(通常の東日本区の振替用紙をお使いください。

その際に「熊本支援」とお書き添え下さい)

【お問い合わせ】

東日本区地域奉仕事業主任 相川達男 までご連絡ください。TEL : 090-3227-4049

▼西東京センター60年記念会

西東京コミュニティーセンターが1955年に武蔵野市西久保に「武蔵野ランチ」として誕生して60年が経つことを記念し、4月16日、「西東京センター60年記念会」が国立商協ビル(さくらホール)にて開催されました。約160名が集い盛大に行われました。

武蔵野ランチは東京YMCAが3番目に設立したランチです。寄宿舎事業を行なったほか、家族会員制度を作って子どもや女性を対象とした地域プログラムを展開し、さらに主事や会員の熱意によって「昭島センター」や「杉並センター」、「立川センター」を次々と設立し、広く東京西部で活動を展開してきました。1972年には三鷹駅近くに移転、1996年からは「西東京センター」として国立駅近くに拠点を移して活動しています。

▼会員大会のお知らせ

会員大会は、東京YMCA会員の皆さんに東京YMCAが何を目指してこの一年を進んでいくのかをお知らせすると同時に会員同士の交流をはかる場でもあります。今回は、「子どもたちの未来が輝くために」をテーマにして、大沼謙一氏(小学校校長を歴任)に講演いただきます。

日時: 5月28日(土) 13:30~16:30

会場: 東京YMCA東陽町センター

会費: 2,000円 申込: 5月16日(月)まで

問合せ: 東京YMCA会員部 (03-3615-5568)

▼山手会館 街頭募金 報告(熊本地震)

4月26日・27日、高田馬場駅周辺にて、熊本地震支援活動のための街頭募金を実施しました。

募金金額: 221,960円

参加人数: 66名(高等学院、ホテル専門学校、liby、ボランティアリーダー、会員、職員)

たくさんのご協力をありがとうございました。

(松本竹弘)

.....

編集後記

熊本・大分地震は余震が続いていて、5月4日にも熊本で震度4の地震が起き、震度1以上の地震の通算回数は1200回を超えたことが報じられました。毎日大地が揺れる生活、被災した方々の困難、支援に当たっておられる方々のご努力が報道を通して伝わってきます。私たちも少しでもできることで支援をしてみたいと思います。(F.K)